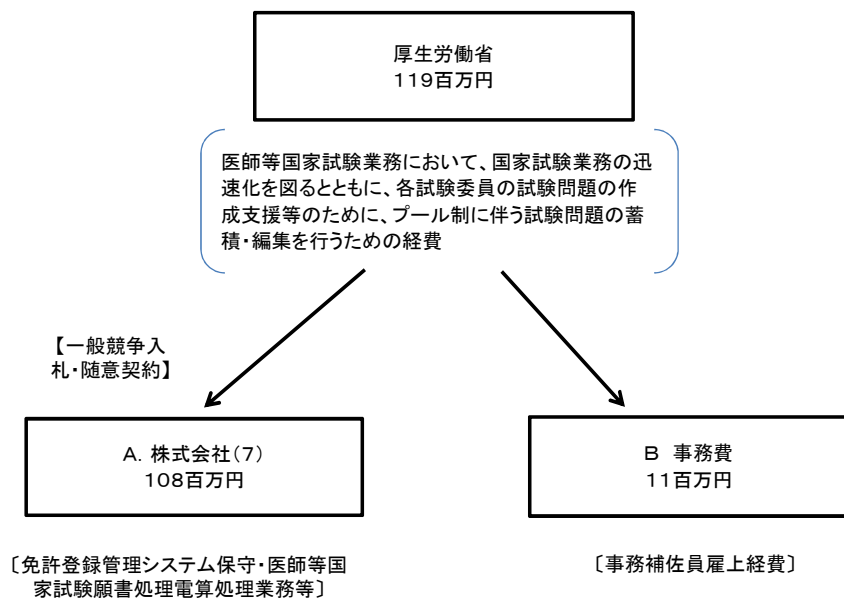


厚生労働省

事業名		医政局国家試験等電算化経費				担当部局庁		医政局		作成責任者	
事業開始年度		昭和55年度		事業終了 (予定) 年度		終了予定なし		担当課室		医事課試験免許室 室長：古川 浩二	
会計区分		一般会計				政策・施策名		I－2－1 今後の医療需要に見合った医療従事者の確保を図ること			
根拠法令 (具体的な 条項も記載)		－				関係する計画、 通知等		－			
主要政策・施策						主要経費		その他の事項経費			
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度以 内)		(1)医師等国家試験業務において、国家試験業務の迅速化を図るとともに、各試験委員の試験問題の作成支援等のために、過去の試験問題データの蓄積を行うこと。 (2)合格者データ等を電子化することによる新規免許登録事務の迅速化及び紙媒体である登録者籍簿を電子化することにより、籍訂正事務の効率化並びに医師等資格確認検索システムの運用によって、国民の生命・健康の保護に寄与すること。									
事業概要 (5行程度以内。 別添可)		(1)医師等国家試験業務において、受験者データ、採点、合否判定データ等を電算化し、試験事務を迅速化するとともに、医師等国家試験の試験委員会において、既出問題、公募問題を活用しながら試験問題を作成できるよう支援を行うため、良質な試験問題を蓄積するもの。 (2)医師等国家試験については、合格発表(毎年3月)直後に約11万人の免許申請が医事課試験免許室に集中するが、合格者データ等を電子化することにより速やかな新規免許登録に資する。また、紙媒体である登録者籍簿の電子化により、年間7万人を超える氏名等の訂正(籍訂正等)事務の効率化を図る。さらに、平成19年度から稼働している医師等資格確認検索システムにあっては、厚生労働省ホームページ上で医師等の氏名を検索できるようにすることにより、国民が医師等の資格を確認できるようにし、医師等でない者からの医療の提供を避けることを可能とする。									
実施方法		委託・請負									
予算額・ 執行額 (単位：百万円)				24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求			
		予算 の 状 況	当初予算	248	197	129	130	245			
			補正予算	－	－	－	－				
			前年度から繰越し	－	－	－	－				
			翌年度へ繰越し	－	－	－	－				
			予備費等	－	－	－	－				
		計	248	197	129	130	245				
		執行額	162	194	119						
執行率(%)	65%	98%	92%								
成果目標及び成 果実績 (アウトカム)		定量的な成果目標		成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 28 年度	
		医療施設従事医師数を増 加させる。	医療施設従事医師数 平成22年：280,431人 (103.1%)、平成24年： 288,850人(103.0%) ※医師・歯科医師・薬剤師 調査より(2年ごと)(目標値 「前年度以上」、26年度成 果実績及び達成度「集計 中」)	成果実績	人	288,850	－	－			
			目標値	人	288,850	－	288,850	288,850			
			達成度	%	103%	－	－				
成果目標及び成 果実績 (アウトカム)		定量的な成果目標		成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 27 年度	
		就業看護職員数の対前年 度と比較し増加させる。	就業看護職員数(26年度成 果実績「集計中」、26年度 実績が集計中であるため、 27年度目標値は平成26年 度目標値と同値とする。) ※医政局看護課調べ	成果実績	人	1,537,813	1,571,647	－			
			目標値	－	1,495,572	1,537,813	1,571,647	1,571,647			
			達成度	%	102.8%	102.2%	－				
活動指標及び活 動実績 (アウトプット)		活動指標			単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込		
		医師等10職種受験者数	活動実績	人	110,933	115,555	117,183				
			当初見込み	人	115,320	114,028	118,024	121,789			
活動指標及び活 動実績 (アウトプット)		活動指標			単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込		
		医師等10職種合格者数	活動実績	人	97,564	100,815	104,170				
			当初見込み	人	99,941	100,164	107,364	106,867			
単位当たり コスト		算出根拠			単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込		
		単位当たりコスト=X / Y X：執行額 Y：受験者数		単位当たり コスト	円	1,460	1,679	1,016	1,067		
		計算式	X / Y	162百万円/110,933 人	194百万円/115,555 人	119百万円/117,183 人	130百万円/121,789人				
内 訳 (単位：百万円)	費 目		27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由						
	医政局国家試験費		130	245	免許登録管理システム及び医師等資格確認検索システム並びに薬剤師名簿登録システムを統合させ、政府共通プラットフォームに移行させるための、システム設計・開発費の増、受験見込者数の増等						
計		130	245								

事業所管部局による点検・改善						
項 目			評 価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	国家試験を適性に実施するための事業であり、優秀な医療従事者を輩出するためにも、優先度が高い事業である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	機密性の高い事業であるため、国で実施する必要がある。		
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	国家試験を適性に実施するための事業であり、優秀な医療従事者を輩出するためにも、優先度が高い事業である。		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	入札を行うなどしているところであるが、一者応札となっている事業もあることから、競争性の確保に努める。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○	経費削減に努めており、受益者との負担関係は妥当である。		
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	合理的でかつ必要な経費に限られているため、単位当たりのコスト水準は妥当である。		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	合理的であり、かつ必要なものに限定されている。		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）		-	-		
事業の有効性	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか		○	仕様書の見直しなど契約内容を精査している。		
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		○	成果実績は成果目標と達成しており、見合ったものとなっている。		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	国家試験を適性に実施する上で実効性の高い事業となっている。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	活動実績は概ね見込みに見合ったものである。		
関連事業	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-	-		
	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。（役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載）		-	-		
	所管府省・部局名	事業番号	事業名			
	-	-	-			
-	-	-				
点検・改善結果	点検結果	例年、予算額と執行額の乖離の理由を分析し、予算要求に反映させてきたところであり、予算規模としては妥当な水準であると思われる。執行についても、業務効率化や一般競争入札によるコスト削減に取り組んでおり、適正に実施している。				
	改善の方向性	国家試験制度の改善、厳格な試験の実施、免許申請の審査の迅速化を行い、また、仕様書の見直し、一般競争入札の推進を行い、更なる予算執行の適正化を図る。				
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	過去の執行実績を踏まえ、予算額について、一定の見直しを行ってきており、平成26年度の執行額も特段問題と思われるため、引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	執行実績や受験見込者数を踏まえて、業務内容・積算の見直しを行いながら、必要な予算額を計上した。					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年度	78	平成23年度	64	平成24年度	44	
平成25年度	31	平成26年度	35			

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)

費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A.新日鉄住金ソリューションズ(株)			E.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	雑役務費	医師等国家試験問題検索・編集システム等各種システム運用、保守及び改修	68			
	計		68	計		0
	B.期間業務職員(複数)			F.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	賃金等	期間業務職員の賃金、社会保険料	11			
	計		11	計		0
	C.			G.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	D.			H.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	新日鉄住金ソリューションズ(株)	免許証(医師他13職種)及び臨床研修修了登録証の出力及び封入業務	25	随意契約	-
2	新日鉄住金ソリューションズ(株)	医師等国家試験問題検索・編集システム保守及び運用支援等業務委託一式	14	3	80.2%
3	新日鉄住金ソリューションズ(株)	医師等資格確認検索システム運用及び保守業務委託一式	12	1	97%
4	新日鉄住金ソリューションズ(株)	医師等国家試験問題登録業務	10	1	99%
5	新日鉄住金ソリューションズ(株)	免許登録管理システム運用支援及び保守業務委託一式	7	2	67.4%
6	新日鉄住金ソリューションズ(株)	登録済証明書印刷機能保守及び運用支援業務一式	1	随意契約	-
7	日本情報産業株式会社	医師他9職種国家試験受験願書等電算処理業務	19	2	86.4%
8	三菱電機(株)	Web公募システム運用及び保守	8	1	87.9%
9	(株)ジェイ・アイ・エム	医師等免許登録申請書受付、登録業務	7	1	75.6%
10	(株)ジムマネジメント	登録済証明書プライバシー保護に係る機器等保守業務	2	随意契約	-
11	(株)ジャパン流通プランニング	国家試験受験写真用台紙等梱包発送業務一式	1	随意契約	-
12	(株)ワンビシアークाइズ	資料保管業務	0.4	随意契約	-
13	(株)イマージュ	受験見込者数調等文書の仕分け及び入力業務	0.3	随意契約	-

B

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	期間業務職員(複数)	事務補助	11	-	-